

記者発表資料

これとも

## 是友第 1、第2トンネルが貫通しました

## 国道33号高知西バイパス「是友第1、第2トンネル」が貫通

- 四国地方整備局土佐国道事務所が事業を進めております、国道33号高知西バイパスにおいて、平成22年9月に工事着手した「是友第1トンネル（延長228m）、是友第2トンネル（延長136m）」が、約1年7ヶ月の工事期間を経て本日、平成24年3月14日（水）に貫通しましたのでお知らせします。
- 引き続き、トンネル内面のコンクリート打設等の工事推進を図り、平成24年8月のトンネルの完成を図るとともに、平成24年度に開通を予定している仁淀川渡河区間の天神IC～鎌田IC間に引き続き、枝川IC～天神IC間の早期供用を図るべく事業を推進して参ります。

平成24年3月14日

国土交通省 四国地方整備局

土佐国道事務所

本施策は、四国圏広域地方計画「No. 5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」及び「No. 6 防災力向上プロジェクト」の取組に関連します。

(お問い合わせ先)◎: 主な問い合わせ先

四国地方整備局土佐国道事務所

電話(代表)088-884-0359

改築副所長 上沖 勝則 (内線)204

◎工務課長 黒木 賢二郎 (内線)411

# 高知西バイパス事業概要

## ○概要

高知西バイパスは、高知市鴨部からいの町波川に至る延長9.8kmの国道33号のバイパス事業で、一期区間の高知市鴨部からいの町枝川間、延長4.3kmを高知自動車道伊野ICの受け皿として、平成9年度までに開通しています。

現在は、二期区間としてのいの町枝川からいの町波川までの延長5.5kmを、高知自動車道などの高規格道路と一体となって地域構造を強化することを目的に整備する「地域高規格道路」として整備を進めています。

## ○二期区間の整備の目的

高知西バイパス二期区間は、地域高規格道路として、現道（一般国道33号）で発生している交通混雑の緩和や交通安全確保を図るほか、四国横断自動車道伊野ICへのアクセス向上を目的とする事業です。

また、地域高規格道路として整備されることにより、高知広域都市圏の骨格道路が形成され、いの町以西の地域における広域交流と地域間連携が図られることとなり、高知市も含めた地域の一体となった活性化施策の実現に寄与するものです。

## ○諸 元

路線名：一般国道33号 高知西バイパス

事業区間：自) 高知県高知市鴨部

至) 高知県吾川郡いの町波川

延長：9.8km

構造規格：第4種1級

設計速度：60km/h

標準幅員：26.0m（4車線）

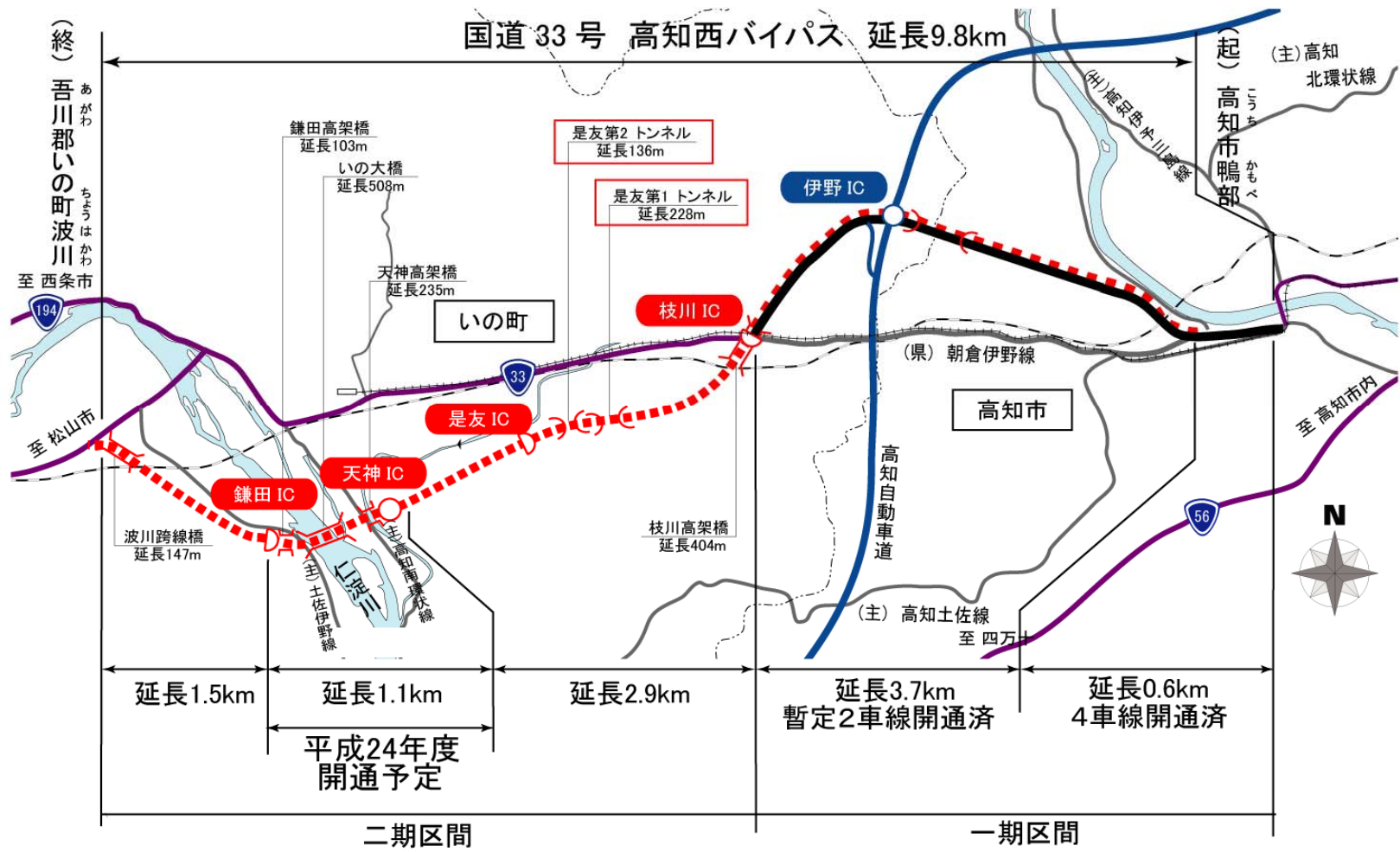
## ○経 緯

- ・都市計画決定 昭和57年10月26日
- ・都市計画変更 平成13年 5月 1日
- ・用地買収着手 昭和59年度
- ・工事着手 昭和62年度

## ○平成23年度工事概要

枝川IC～天神IC間(延長2.9km)において、是友トンネル工事を始め、道路改良、橋梁工事等を実施。また、このうち天神IC～鎌田IC間(延長1.1km)においては、道路改良、舗装工事等を実施し、平成24年度開通を目指します。

# 位置図



## 是友第1トンネル貫通状況写真

是友第1トンネル坑口(松山側)



貫通作業中(掘削状況)



貫通直後の状況



貫通状況

